

2013. 12. 20



NPOフォーラム・だより No.56

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/>

会員・寄付募集中！ ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

ガイド学習に
オススメです

* 赤山地下壕ガイドサービス

1月5日(日) 9:30~12:00
近代史を知るうえで重要な戦争遺跡。
JRバス・日東バス「宮城」から徒歩1分。

* 小谷家住宅の公開見学日

1月5日(日) 13:00~15:30
青木繁が滞在し、《海の幸》を描いた布良の漁家。
JRバス「安房自然村」から徒歩2分。

■地域資源講座:ハンゲル「四面石塔」

…館山体験交流協会ビジターセンター事業

◎ 1月17日(金) 大巖院のハンゲル「四面石塔」 13:30~15:00 参加費無料 要予約

大巖院は1603年、里見氏の帰依を受けて雄誉霊巖上人が開いた浄土宗寺院。ここにある「四面石塔」は東西南北の各面に、インド梵字・中国篆字・和風漢字・朝鮮ハンゲル古文字で「南無阿弥陀仏」と刻まれている。秀吉の朝鮮侵略から家康の国交回復に関わり、戦没者供養と世界平和祈願をこめて建立されたと考えられる。韓国からも多くの方が訪れ、善隣友好を願った先人たちの思いに感動し、東アジア共同体の平和的なシンボルとして、国際的にも注目されている。

■福原有信を語る会

◎ 2月15日(土) 10:30~12:00 福原有信のふるさとを歩こう

集合:安房支援学校前

14:00~16:00 講演会

会場:大神宮集会所(安房神社前) …予定

講師:佐藤朝美(資生堂企業文化部企業資料館)

幕末の松岡村(館山市竜岡)で医者の子として生まれた福原有信は、西洋医学を学び、日本最初の医薬分業を実践して銀座資生堂薬局を創業。房州白土を使って練歯磨きを考案して全国の尋常小学校に普及させた。また帝国生命保険(現朝日生命)の設立や安房銀行の設立発起人として、明治期の経済産業界に貢献している。長女は館山病院初代院長・川名博夫に嫁ぎ、四女は洪沢栄一の次男に嫁いでいる。関東大震災で壊滅した館山病院の復興に尽力し、銀座資生堂が療養型サナトリウムのある館山病院の東京営業所となり、館山は転地療養の地として全国に知られていった。地元松岡地区の住民有志の皆さんとともに、日本の近代化と故郷の産業振興に重要な役割を果たした人物を顕彰し、地域活性化の糸口としていきたい。

■ヘリテージシンポジウム「館山まるごと博物館」

…ヘリテージまちづくり講座最終回

◎ 2月16日(日) 13:30~16:00 たてやま夕日海岸ホテル・カトレアの間 参加費無料

講師:大原一興(横浜国立大学大学院教授・日本エコミュージアム研究会前会長)

座談会:林浩二(千葉県立中央博物館学芸員)、杉江敬(館山市生涯学習課文化財係長)

チヨン・イルジ(神奈川大学助手)、愛沢伸雄(NPO安房文化遺産フォーラム代表)

富士山や和食が世界遺産(ワールド・ヘリテージ)に登録され、ヘリテージ・ツーリズムが人気となっている。有形無形を問わず多様な文化遺産を地域の誇りとして後世に残そうと見直されている。1970年代にフランスで提唱されたエコミュージアム運動は、現在、地域活性化を旨とする「地域まるごと博物館」として全国各地で取り組まれている。なかでも、文化財保存運動が20年続いてきた「館山まるごと博物館」は、市民活動から生まれて取り組みとして全国的に高い評価を得つつある。改めて、わがまち再発見をしてみよう!

◆ツアーガイド&講演のスケジュール

… ガイド学習を兼ねて、スタッフ募集中!

1月 5日(日) 9:30~12:00 赤山ガイドサービス

13:00~15:30 小谷家住宅公開日

1月17日~19日(金土日) 九州大学大学院比較社会学部太田好信教授

1月19日(日) 千葉大学 30名=赤山・かいた村・大巖院・布良

1月30日(木) 10:15~ 木更津市波岡公民館 20名=座学・赤山・かいた村・布良

2月 3日(月) 13:30~16:30 紀州鉄道クラブオーオパスワン 18名=座学・赤山・大巖院

2月 8日(土) 10:30~15:30 秋元氏・福祉 15名=かいた村・花の谷クリニック

3月 5日(水) 10:30~15:30 千葉県生涯大学校外房学園 21名=座学・大巖院・四面石塔

3月16日(日) 11:00~16:00 町田市「慰安婦」問題を考える会 25名=座学・赤山・かいた村

東京の歴史建物視察

青木繁
保存会

小谷家住宅公開へ向け

館山

明治期の洋画家、青木繁が画学生時代に滞在した館山市の小谷家住宅（同市指定文化財）の保存を目指す、「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」（嶋田博信会長）はこのほど、東京の歴史建物バスツアーを行った。会員ら25人が参加。先進事例として、新宿区立中村彝（つね）アトリエ記念館と旧安田楠雄邸庭園（東京都指定名勝）を訪問した。

同会では、市のふるさと納税制度を活用し、全国の著名な画家が組織するNPO法人青木繁「海の幸」会とともに募金活動を展開。今後、2か年の修理復元工事を経て一般公開を目指している。館山の転地療養をきっかけに画家となった中村彝は、新宿中村屋の相馬愛蔵夫妻から支援を受けて活躍した。大正期に新宿区下落合に建立した彝のアトリエは、住民による長い保存運動の末、新宿区によって新築復元されて公開が始まっている。館内はイーゼルや調度品と複製画の展示で当時の雰囲気が再現され、映像で彝の生涯や画業を紹介している。奇しくも館山中村屋は、昭和初期に新宿中村屋から暖簾（のれん）分けした老舗であり、本店喫茶室には彝が布良で描いた「海辺の村」（白

壁の家）の複製画が常設されている。

一方、文京区千駄木の



中村記念アトリエで担当者の話を聞く参加者＝東京

旧安田邸は大正期建立の近代和風建築として価値が高く、現在は公益財団法人日本ナショナルトラストに寄贈されている。週2日の公開だが、今回は貸切の特別見学として企画され、管理運営を担っているNPO法人文



京歴史建物の活用を考える会（通称たてもの応援団）理事の多見貞子さんから講義を受けた。市民ボランティア80人が、建物や庭園の行き届いた清掃管理や館内ガイドなどに活躍。きめ細かい工夫や季節ごとに趣向をこらした企画が好評で、リピーター来場者も多いという。

視察を終えた参加者は、「小谷家住宅の公開後のビジョンを具体的に描くためのヒントを多く得た」としている。

房日新聞 2013.12.18 付

- ◆中村彝アトリエ記念館
（新宿区下落合 3-5-7）
休館日：月曜 入館無料
- ◆旧安田楠雄邸庭園
（文京区千駄木 5-20-8）
公開日：水・土曜
維持修復協力金 500 円

